

中部農林高等学校 定時制農業科

eスポーツチームマネジメント人材養成講座(計二回)修了

文部科学省委託事業 1年A組の5名全員が修了!

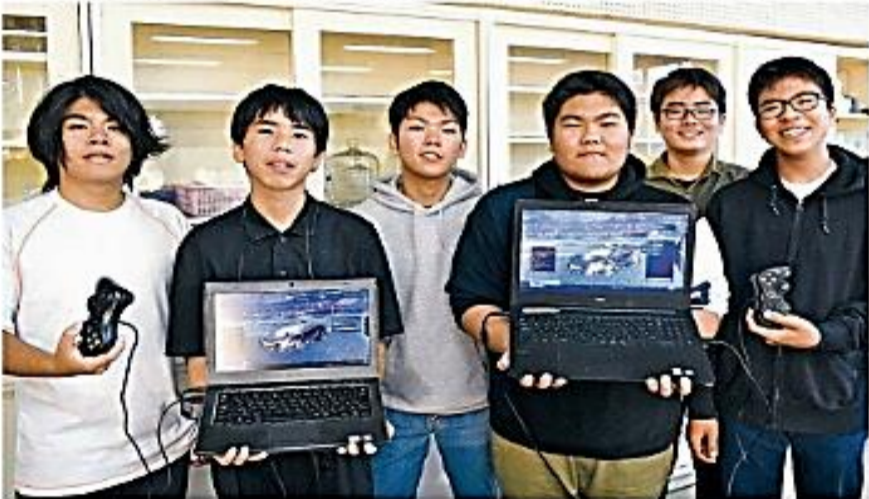


講座内容 (PBL 学修 8 時間)

・PBLとアクティブラーニング・マネジメント業務構造(3領域)・eスポーツアナリストの役割と仕事・勝利条件と戦術目標の確認と情報分析・戦術の立案・検証・評価・改善・PDCAサイクルの意義・最終プレゼンテーション
「eスポーツ分野における先端技術活用型チームマネジメント人材養成事業」という難しそうな講座でしたが、実践的なので夢中になって楽しく取り組みました。



部への昇格を目指しeスポーツに取り組む中部農林高校
定時制1年生の有志=11月25日、うるま市田場の同校



全国大会3回戦進出

【うるま】中部農林高校定時制1年生の有志が、パソコンや家庭用ゲーム機で腕前を競う「eスポーツ」に励んでいる。11月下旬に開催された「第3回全国高校eスポーツ選手権大会」では同校から2チームが出場し、うち1チームは3回戦まで勝ち進んだ。部や同好会への昇格を目指し、生徒らは今後本格的に力を入れていく考えだ。

中部農林eスポーツ励む 定時制1年有志、部へ昇格目指す

みんな元々ゲームが好きだったが、eスポーツはほとんど経験がなかった。大会があることを知った10月末ごろから興味のある人で集まり、練習を始めた。しかし生徒らはパソコンを持っておらず、部や同好会でついでに学校からの支援が受けられない状態だった。サポート役を務める小池隆之助が各方面に相談し、IT企業や専門学校から機材や練習場を借りることができた。大会はオンラインでの開催で、大会本番用の場所と機材も提供してもらった。

出場したのは「ロケットリーグ」部門で、ジャンプやロケット飛行ができる特殊な車を使い、サッカーをするゲームだ。日中はアルバイトしている生徒もおり、全体での練習時間がなかなか確保できない中、授業の前後を利用し練習に励んだ。

「3回戦まで勝ち進む健闘を見た。『ヒーシュー』は初戦敗退した。生徒らは本物のサッカーのように声を掛け合いながらプレーした。山口拓さん(16)は「連携がうまくいき、何とか2勝することができた。うれしかった」と喜んだ。小池教諭は「まさか勝てると思わず、驚いている。これからもできるだけでなくの大会に出場し、実績を積み上げたい。今後部活にできたらい」と話した。その上で「eスポーツはコミニケーション能力の向上にも役立つ」と意義を語った。

来年3月に開催される決勝大会に進出した4チームの一つに、うるま市のN高校eスポーツ部が含まれている。



私たちの活動が新聞に載りました!取材は緊張しましたが、みんなにeスポーツを知ってもらいたいと思い受けました。いつかeスポーツが新聞のスポーツ欄に載る日が来るといいなと思います。記事「琉球新報社 提供」